

声 明 文

二年六入正付科一組、又決議
三年物理学科有志、正名

○工本工学科

工本工学科有志の有志は、五月六日、四入講堂に於て、自主的に討論を行ひ、学費当局の不当なるロツファウト問題を中心にカリキュラム、学編など日帝の学費に争へる不満及び授業に対する不満を悉く合つました。そして学校、学生間にこれらのことをアピルすること有らば採決し、引き渡さへ八日にクラス又協議及び有志決議をもって、全学生にアピルすると同時に、学部長代行に抗議書と提提出することと確信いたしました。

○物理学科

我々物理学科有志は先日公表した紙に一方的なロツファウトは民主主義の立場に反する。①学問の場と奪つものである。と考へ、大學生会も厳正に糾弾する。そして我々の基本的権利を再び、発展させる為には運動をすることと表明し、又、全ての学生、既生、教職員に同一団結と連帯を求めたものである。

○ロツファウト問題を通じて全学科の連帯を

各々学校当局はロツファウトとするのか、四月以降、再三にわたって学費側は一方的に何の理由の表明もなしに、紙切れ一枚で臨時休校とした。あの授業料を払つて、我々には当然の授業を受けられる権利がある。この基本的権利を踏みにじり、学費当局の態度を我々は絶対に許す事は出来ない。全学生が団結して、このロツファウト体制に対し、敢しい怒りをもってクラス討論等を通じて、立ちみがるべきではないだろうか。

ここに我々はロツファウトの責任を連帯すると同時に、他学科に連帯を呼びかけるものである。